

意見書

▼林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書（一部抜粋）

林業・木材産業の振興と雇用の安定化を図るため、森林整備事業及び治山事業の財源を十分かつ安定的に確保すること。

「森林の間伐等の実施の促進に関する特別措置法」を延長し、同法に基づく森林整備事業の都道府県・市町村負担分の起債を可能とする地方債の特例措置を継続すること。

森林整備から木材の加工・流通、利用までの一体的な取り組みや森林づくりを担う林業事業者や人材の育成に必要な支援措置を充実・強化すること。

▼新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書（一部抜粋）

地方税、地方交付税等の一般財源総額を確保・充実すること。臨時財政対策債の償還財源を確保すること。

地方交付税は、財源保障機能と財源調整機能が適切に発揮できるよう、総額を確保すること。

地方税収の大幅な減少が予想されることから、万全の減収補填措置を講じるとともに、減収補填債の対象となる税目についても弾力的に対応すること。

税収が安定的な地方税体系の構築に努めるとともに、国税・地方税の政策的な整理合理化を図り、新設・拡充・継続に当たっては、有効性・緊急性

等を厳格に判断すること。

特に、固定資産税は、重要な基幹税であり、制度の根幹を揺るがす見直しは断じて行わないこと。また、新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として講じられた特例措置は、今回限りの措置として、期限の到来をもって確実に終了すること。

【全員賛成で可決、関係機関に送付】

▼国土強靱化に資する道路の整備等に関する意見書（一部抜粋）

長期安定的に道路整備・管理が進められるよう、新たな財源を創設し、道路関係予算は所要額を満額確保すること。

高規格幹線道路については、未着手区間の早期着手及び機能向上を図ること。「防災・減災、国土強

業の範囲を拡充すること。

また、地方が国土強靱化地域計画に基づく事業を着実に推進するため、必要な予算を確保するとともに、地方財政措置制度の充実を図ること。

道路施設のメンテナンスサイクルを確立し、技術的支援の充実を図るとともに、対策予算を確保すること。

【全員賛成で可決、関係機関に送付】

▼種苗法改正案の慎重な審議を求める意見書（一部抜粋）

改正案では、すべての登録品種の自家増殖が許諾制となるため、企業への主要種子の独占や許諾による事務作業の煩雑化、費用の増加などが見込まれることから、農業者が安心して作付けできる環境を整えること。

主要農作物種子法において機能していた、都道府県における地域の特色を生かした種子の研究・開発などを、今までもお

▼「子どもの貧困」解消などと教育予算確保・拡充と就学保障、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への還元、教職員の超勤・多忙化解消の「30人以下学級」の実現に向けた意見書（一部抜粋）

義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、当面負担率2分の1への還元、早急に実効性のある教職員の超勤・多忙化解消の実現など、教育予算の確保・拡充、就学保障の充実をはかるよう要請する。

【全員賛成で可決、関係機関に送付】

優良な国産農産物の種子の海外流出を防止するための万全な対策、制度を構築すること。

【全員賛成で可決、関係機関に送付】



町政を問う！

一般質問

9月定例会では6人の議員が12項目にわたり一般質問を行いました。質問と答弁は要約して掲載しています。

一般質問とは

議員が町政全般に関して、執行機関（町長や行政委員会）にその執行の状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項等について質問をすることをいいます。

清水町議会では1人の質問時間を答弁も含めて90分以内としています。

山下 清美 議員 10ページ

- 1 道の駅について
- 2 防災対策について

佐藤 幸一 議員 11ページ

新型コロナウイルス感染症対策について

中島 里司 議員 12ページ

- 1 清水高校の現状維持は
- 2 体育館建設の計画は

鈴木 孝寿 議員 13ページ

- 1 清水高校の間口減少をさせないための対応について
- 2 人口減少対策における企業立地の現状について
- 3 コロナウイルス感染症における今後の対策について

中河 つる子 議員 14ページ

高齢者が住み慣れた地域で生きていくのに何が必要か

川上 均 議員 15ページ

- 1 高齢者の在宅介護支援の推進について
- 2 新型コロナウイルス感染症の取り組みについて
- 3 役場職員退職者の再任用及び今後の技術系職員の計画的採用について

